

熱中症に注意しましょう

外で作業をしている時や運動をしている時などに「クラッ」ときたことはありませんか？特に夏場では、大したことはないかと思つていても知らずのうちには熱中症にかかり、重篤な症状に陥つてしまう危険性があります。また、熱中症は屋外だけでなく屋内でも発生する可能性がありますので

注意が必要です。「自分だけは大丈夫」「これくらいだったら大丈夫」など、そうした油断が熱中症を引き起こしかねません。熱中症にならないために、正しい知識に基づき予防対策を行つて、この夏の暑さと上手に付き合つていきましょう。



スポーツ少年団の指導者に聞きました！

熊谷市スポーツ少年団事業委員会
委員長 **新井佳芽雄さん**
(江南南サッカースポーツ少年団指導者)

この時期、子どもたちを見ているときは、のどが渇く前からこまめに給水させています。また、試合中でも給水タイムを設けていますね。やはり夏場は湿度も高く汗をかく量も増えますから余計に気を使います。

また、子どもの様子におかしいところはないか、変わったところはないかなど、常に表情を伺うよう気をつけています。

熊谷市スポーツ少年団本部や各団において、指導者や親向けに熱中症対策の講習会などを行ったりもしていますので、そのような機会に正しい知識を身に付け、また、指導者や親同士で情報交換を行うなど、その予防や応急時に備えています。

幸いにもうちの団では、ここ数年、重篤な熱中症にかかった子どもは出ていません。これからも熱中症ゼロを目指していきたいですね。

熱中症かもしれないと思ったときには

こんな症状があったら
医療機関に
相談しましょう

- 軽** めまい、立ちくらみ、筋肉痛、汗がとまらない
- 中** 頭痛、吐き気、体がだるい(倦怠感)、虚脱感
- 重** 意識がない、けいれん、高い体温、呼びかけに対し返事がおかしい、まっすぐに歩けない

熱中症予防グッズ「クールスカーフ」を活用しよう！

水を含ませた状態で首などに巻くだけで、気化熱による冷却効果で涼感を得ることのできる優れたものです。乾いても濡らせば何度でも使えます。

こんな方に配布しています！

暑さ対策事業の一環として、75歳以上の高齢者、65歳以上の単身高齢者(台帳登録者)、小学生に対し、「クールスカーフ」を無償配布し、熱中症予防・救急搬送等の重傷者の減少を図っています。

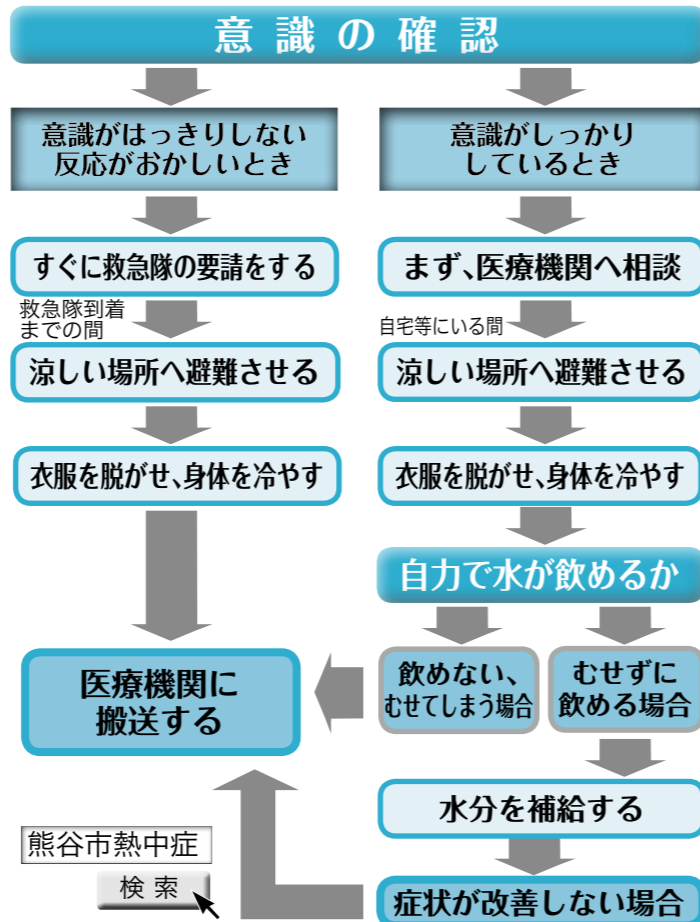
販売もしています！

価格 1枚800円
カラー ネイビー、ピンク、ブルー、ライトグリーン
販売場所 市役所3階企画課

クールスカーフの活用方法

- ハンカチとして使う
- 首に巻く
- 頭に巻く

使い方はいろいろにや。みんなが工夫をして夏をのりきろうにや。



炎天下のスポーツや屋外での作業等の際は十分な水分補給を！！

救急出動件数

平成24年中の熊谷市救急出動件数は8385件と過去最高を記録しました。そのうち、熱中症による救急出動件数は106件と前年度に比べ34件減少しています。

熱中症にならないための注意点

急な暑さには要注意

熱中症は、急に暑くなったときに多く発生しています。例年、5月頃からみられ、7月下旬から8月上旬に多発する傾向があります。また、熱帯夜の翌日は注意しましょう。

薄着でさわやかに

皮膚からの熱の出入りは、衣服が関係しています。暑い時期は軽装にし、素材も吸湿性や通気性のよいものにし、屋外では帽子を着用しましょう。

こまめに水分補給を

汗で失った水分を補わないと脱水状態になり、体温調節機能や運動機能が低下します。暑い日には知らない間に少しずつ汗をかいていまるので、こまめに水分を補給しましょう。また、汗をたくさんかく場合には、塩分の補給も必要です。0.1〜0.2%程度の食塩水(1ℓに1〜2gの食塩)が適当です。

「熱中症予防情報メール」を活用しよう！

登録時に小学校区を選択すると、携帯電話にお知らせします。メール配信の内容

- 予報または実況が設定されたランクに達する場合
- 前日17時頃：翌日の予報を配信
- 当日8時頃：当日の予報を配信
- 当日実況(8時〜18時)：設定された熱中症ランクに達した場合に配信

体調不良も要注意

熱中症は、健康な人でも起こります。疲労・発熱・かぜなど体調が悪いと体温調節機能が低下し、熱中症につながります。また、暑さへの耐性は個人差があります。暑さに弱い人は特に注意が必要です。





後列左が原田さん

広東レオパードが来熊

6月21日、中国の強豪プロ野球チーム「広東レオパード」が熊谷で合宿を行うにあたり、市長を表敬訪問しました。このチームの監督は本市出身の原田勝美さんが務めています。



晴天のもと、田植え体験

6月23日、三尻小・籠原小・熊谷西小の児童と、鎌倉「鶴の子会」の子ども達が、三ヶ尻地内の田んぼで田植え体験をしました。汗をかきながら、一人ひとりが稲を丁寧に植えていました。



キャンドルイルミネーションでスローな夜を

6月22日、中央公園でキャンドルナイトが開催されました。10周年の記念コンサートも開かれ、柔らかなろうそくの灯りの下、エコの意識を高めながら心地よいひとときを過ごしました。



先人の功績を振り返りました

6月23日、『日本最初の女医「荻野吟子」没後100年記念フォーラム』がさくらめいとにて開催されました。来場者は、女史の半生を描いた一人芝居や埼玉県出身の女性4名によるパネルディスカッションに熱心に見入っていました。



青年海外協力隊員市長表敬

6月21日、ウガンダへ派遣される小久保明子さんと、パラグアイに派遣される田中康予さんが、出発にあたり市長を表敬訪問しました。小久保さんは、中等学校で体育の授業を行い、田中さんは日本語学校で現地教師能力向上、育成に係る支援・指導を行う予定です。



全国大会でも輝け!

7月10日、空手の県予選を勝ち抜いた4人の選手が、「第13回全日本少年少女空手道選手権大会」出場にあたり、市長を表敬訪問し、一人ひとり大会への意気込みを語りました。



更なる記録更新を目指して

7月1日、交通死亡事故「0」日更新記録186日を記念し、コミュニティひろばで式典が開催され、交通安全の啓発と更なる記録の更新を目指し交通安全パレードが行われました。



ニュージーランドへ行ってきます!

7月8日、姉妹都市校であるサウスランドガールズ高校へ短期派遣される熊谷女子高校の生徒が、市長を表敬訪問しました。生徒は、それぞれ抱負と決意を力強く語りました。



淡く優しい光が舞う

6月22日、別府沼公園で「第15回ホテル祭り」が開催されました。この時期にしか見ることができないヘイケボタルの優しい光に多くの人が魅了されました。



川床で涼を感じてみませんか

6月22日、星川周辺で新☆星川体験が行われました。当日は、星川に設置した川床のテープカットのほか、魚の放流体験などが行われ、早速、川床で涼む人や、親子で放流を楽しむ姿が見られました。



浴衣似合うかな

6日16日熊谷市国際交流協会による「日本文化体験の日」が緑化センターで開催されました。参加者達は、浴衣に着替え、折り紙やけん玉、かるた、おはじきなど日本の伝統的な遊びを体験しました。



大きな茅の輪くぐったよ

6月30日、参道の鳥居に大きな茅の輪が作られ、人々がこれをくぐって半年間の穢れを清め、厄災から逃れるという胎内くぐりが高城神社で行われ、多くの人で賑わいました。

おたよりパレット

市報クイズ6月号で寄せられたご意見を紹介します。

テーマ

「夏の家族旅行の思い出」

家族で過ごした楽しい思い出は、いつまでもたっても心に残っていますね。今年の夏の計画は、もう立てられましたか。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

- 長男をはじめ海に連れて行ったとき、広い海を見て、ぼかんと口を開けて驚いていた顔を思い出します。(40代・男性)
- 子どもが小学生のとき、草津へ一泊旅行に行きました。湯もみをし、ホテルのお風呂が良く、4、5回入った記憶があります。(60代・女性)
- 子どもが小さい頃、よく新潟方面の海水浴場に行きました。最初は、波を恐がっていましたが、すぐに慣れ、水中メガネで海の底を探検したり、岩場でカニや貝、小魚を獲ったりと、あっという間に楽しいひと時が過ぎました。(60代・女性)
- 私が小さい頃には、毎年夏には泊まりがけで海に連れていってもらってました。私も去年出産し、家族3人になったので、今年は自分の家族と海に行きたいと思っています。(20代・女性)

今月のテーマ、「行楽の秋にしたいこと」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「行楽の秋にしたいこと」のコメントを必ず記入し、8月23日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

6月号の正解 ①25 ②いい旅 ◆応募総数47通中、正解41通

今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。

①旧熊谷市立女子高等学校の施設を有効活用した「熊谷市スポーツ・□」がオープンします。

②8月は人権尊重社会をめざす県民運動□月間です。

今月のプレゼント

tea drop(ティードロップ)ご提供の、アフタヌーンスイーツセットを、正解者の中から抽選で10人に提供します。
所在地: 妻沼1675-1
電話: 048-594-8046



読んで当てよう
市報
クイズ

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 ☎内線212までお問合せください。

夢追人

保護司としての活動

明るい社会を築くために

保護司
棚澤和子さん（上之）



保護司とは、罪を犯した人が刑務所や少年院から出て、保護観察を受けることになった場合、立ち直りを支援していく民間のボランティアです。保護司としての活動を始めたのは私の義父が熊谷地区保護司会の会長をしていたことがきっかけです。病気で倒れてしまっただけからは、私が引き継ぐことになりました。保護司になりたてのころは、まだ子育て期間中だったため育児

との両立ができるか心配でした。また、罪を犯した人が自宅を訪問するというところで、不安がまったくなくなつたとは言えません。しかし夫や家族の協力があって、保護司として、少しでも手助けをしたいという思いを持っていくからこそ、活動を続けていられるのだと思います。

立ち直りの支援を通して

熊谷市役所内にある熊谷地区更生保護サポートセンターでは、犯罪予防と更生保護支援活動の拠点場所となっていて、私たち保護司はこちらにいて、対象者の相談相手となっています。また、自宅に来てもらったり、こちらから訪問したりするので、対象者との面接では、信頼づくりが大切です。初めのうちは口数が少なくても、話し合いを続けるなかで日に日に雑談が増え、友だちや仕事の話等、気軽に話してくれるようになります。そして本音で語り合うことができま

す。更生した少年が街で会って声をかけてくれたり、手紙や年賀状で現在の状況を教えてくれたりしたときは、とても嬉しいですね。逆に、



啓発活動をする棚澤さん

再び犯罪に手を染めてしまったときには、本当に悲しい気持ちになります。一件でも多くの犯罪を防げるような社会にしていきたいと思っています。

地域の支え、協力の大切さ

罪を犯した人が社会に戻ってきたときに大切なのが、地域の支えです。本人が立ち直ろうとしても、社会から排除されてしまつては、それはできません。立ち直りの芽を折らずに、同じ地域に住む人たちの理解が必要なのです。

私は、少しでも社会が明るくなるよう、これからも保護司の活動を続けていきたいと思っています。小さな手助けかもしれませんが、社会に貢献していければ幸いです。また、地域の皆さんにも温かい目で、彼らを支えていただけたらと思っています。

来て！見て！知って！文化財

坂田医院旧診療所

所在地：熊谷市妻沼1420

昭和6年に産科医院として建てられた「坂田医院旧診療所」は、鉄筋コンクリート造、平屋建て、外壁正面をスクラッチタイル貼りとする明治初期の地方近代建築の貴重な遺構として平成16年に国登録有形文化財となりました。

外壁のスクラッチタイルとは、タイルの表面を櫛引きして平行の溝を作り焼成した様式のことであり、その模様から簾レンガとも呼ばれています。室内には、受付・調剤室、応接室、待合室、診察室、分娩室、手術室、レントゲン室などが残されており、主要な部屋を正面側（東側）に並べ、背面（西側）には外光が差し込む廊下を配置しています。

内部は、壁・天井ともに、鉱物質を原料とした塗りの方法であるプラスター仕上げが用いられ、柱や天井の隅などに巡らした蛇腹と呼ばれる帯状の構造は、各部屋ともに意匠

を凝らしています。床には檜材が、床と壁とのつなぎ目には松材が多用されています。天井には端正な形状を重視するアールデコ様式の照明器具が当時のまま残されています。



外壁の上部には、直線を基調とした歯形の凹凸装飾が見られ、かつて玄関ポーチの両脇には幾何学的なキューブス風石膏レリーフがはめ込まれていました。

現在、この建物は映画やドラマなどの撮影場所として使用されるなど、全国的な知名度を上げています。

◆江南文化財センター TEL 048-536-5062

人口と世帯 平成25年7月1日現在(対前月比) ■人口 203,171人(-29) 男 101,601人(-43) 女 101,570人(+14) ■世帯 世帯83,309(+50)

「市報くまがや」8月号は、72,300部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成25年8月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-0860
TEL 048-524-1111(内線2006) FAX 048-520-2870
熊谷市宮町二丁目47番地1

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>